

係り結びと格の

通方言的・通時的研究

Towards cross-dialectal
and diachronic studies of
Kakarimusubi and case
across Japonic languages

2020年

9月19日 土 10:00~16:00

9月20日 日 10:00~16:30

Web開催(事前登録制、事前動画公開有り)

9月19日(土) 係り結び

「概説:琉球諸方言における係り結び研究の展開」
林由華(国立国語研究所/日本学術振興会)

「琉球諸方言における係り結びに関連する述語動詞形式の交替現象」
林由華(国立国語研究所/日本学術振興会)

「文タイプとの呼応からみた係り結びの衰退」
衣畑智秀(福岡大学/ワシントン大学)

「古典語の係り結びと情報構造」
近藤泰弘(青山学院大学)

「古代日本語におけるソ(ゾ)による係り結びの焦点範囲について」
勝又隆(福岡教育大学)

ディスカッション

司会:竹内史郎(成城大学)

コメンテータ:小田勝(國學院大学)、ジョン・ホイットマン(コーネル大学)

9月20日(日) 格

「有標主格性と情報構造」
下地理則(九州大学/国立国語研究所)

「富山県朝日町笹川方言の人称代名詞:総合的な形態の主格に着目して」
小西いずみ(東京大学)

「福島県北部方言における文の情報構造とイントネーション」
白岩広行(立正大学)

「中世末期中央語の主語標示とガの機能の歴史的変化」
竹内史郎(成城大学)

「近世近代における上方語の格標示について」
坂井美日(鹿児島大学)

「関西方言の格配列:有標性と頻度の観点から」
中川奈津子(国立国語研究所)

ディスカッション

司会:木部暢子(国立国語研究所)

コメンテータ:金水敏(大阪大学)、佐々木冠(立命館大学)

参加方法・詳細情報:

<https://www.ninjal.ac.jp/event/specialists/project-meeting/m-2020/20200919/>

主催:

■国立国語研究所プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」

■科研費 19H05354「日琉諸語の歴史と発展についての総合的研究に向けて」(新学術領域「ゲノム配列を核としたヤポネシア人の起源と成立の解明」公募班)

■科研費 19H01255「日琉諸語の有標主格性に関する基礎的研究」

■科研費 20K20704「日琉諸語における格という文法カテゴリーの検討」